

2011年5月12日

各位

ガイアホールディングス株式会社
(コード番号:3727 東証マザーズ)

ガイアホールディングス:
2011年12月期第1四半期(2011年1～3月期)連結業績発表
スマートフォンの台頭やソーシャルアプリの流行等、
急激な市場変革に的確に対応し前年同期比で売上増を達成

ガイアホールディングス株式会社(東証マザーズ:3727、本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍、以下「ガイアホールディングス」)は本日、2011年12月期第1四半期(2011年1～3月期)の業績を発表いたしました。

当第1四半期会計期間において、当社グループの主な事業分野である携帯電話市場は、スマートフォンの台頭とソーシャル・ネットワーキング・サービス(以下「SNS」)によるソーシャルアプリの隆盛等の急激な市場変革が進んでおります。この変化する市場環境の中、当社グループは各事業領域において的確に変革に対応していくことにより、前年同四半期を上回る売上となりました。

中核事業であるソフトウェア基盤技術事業の売上については、日本国内を含めたアジア市場において前年同四半期比で増加傾向となり、スマートフォンによる携帯電話市場の活性化に同調する形となりました。特に中国市場において当社の主力製品である「JBlend™」の売上は、50%近い増加となりました。また日本国内の売上に関しても、Android™端末向けメーカーのコアエンジン「emblend™」が、急拡大するスマートフォン市場で順調に出荷を伸ばし、前年同四半期比で増収となりました。欧米ではスマートグリッド(次世代送電網)向けソリューション等の提供が始まっており、今後のロイヤリティ売上への貢献が期待されております。

コンテンツ・サービス等事業については、特にオープンソーシャル事業において、SNS ユーザーへのサービスの認知度向上に向け、新たに「B面彼氏」、「ケータイ少女★恋愛パケット」の2タイトルを投入し、さらに SNS 版「TETRIS® LEAGUE(テトリスリーグ)」の配信等により、前年同四半期比で20倍を上回る売上となりました。

今後も引き続きグループ各社の要素技術を高い次元で融合し、市場の需要に先駆けて製品・サービスを提供していくことで、ソフトウェア基盤技術ならびにコンテンツ・サービス等事業においてより収益性の高い企業集団の実現に努めてまいります。

■ ガイアホールディングス株式会社について

ガイアホールディングスは、全世界の地域毎の特性を捉えた多様なグローバルビジネスを展開するため、グループ一体となった経営体制で企業価値の向上を図ることを目的として誕生しました。グループ企業には、株式会社アプリクス、株式会社ジー・モード、株式会社アニメインターナショナルカンパニー、iaSolution Inc.などがあり、各社が提供するゲームやアニメーション等のコンテンツ・サービスと、それらのコンテンツ・サービスを快適にご利用いただくための技術、品質、先進的基盤を提供すること、それがガイアグループの目指すものです。

コーポレートサイト:<http://www.gaia-hd.com/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

ガイアホールディングス株式会社 IR 担当
Tel:03-5286-8436

※Aplix、JBlend、emblend および Aplix、JBlend、emblend に関連する商標およびロゴは、日本およびその他の国におけるアプリクスまたは関連会社の商標または登録商標です。

※「Android」は Google Inc.の商標または登録商標です。

※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。